

検索サービス

今後、会計業界でも、顧客が会計事務所を探すときには検索サイトの利用が主流になると予測される。それを見越して、freeでは検索サービスを強化。会計事務所単体ではハードルが高いウェブマーケティングやSEO対策がfreeの検索サービスを利用することで、労力なくおこなえるように！

★SEOのスキルがなくても、ウェブマーケティングができる！

★自分にピッタリのクライアントがたくさん見つかる！



今後は検索サイトが税理士選びの主流に

freeにはユーザー向けに、free対応の税理士・会計士・社労士事務所を紹介するサイトがある。住んでいる地域やサポートしてほしい内容、年齢や性別といった条件から、ユーザーと認定アドバイザーをマッチングするサイトだ。

freeでは、今このサイトのリニューアルに力を入れている。現状では主にfreeユーザーに向けたサービスだが、今後目指すのは、「税理士を探してネット検索をした人が、みんなfreeのアドバイザー検索サイトにたどり着く」ようにすること。

「たとえば、HOME'SやSUUMO（スーモ）といった賃貸情報サイトをイメージしていただくとうわかりやすいですね。賃貸物件を探したいとき、今は“地域名+賃貸”などで検索して、有名賃貸情報サ

イトから物件を選ぶことが多いですね。不動産屋さんも、自社でホームページを持っていても、集客は賃貸情報サイトを通じてしています。会計業界もそれと同じで、今後は検索サイトで税理士選びをするのが主流になっていくでしょう。freeの検索サービスもそこを狙っています」

こう語るのは、ウェブマスター（サイトのデザイン、開発、マーケティング等の管理者）として、freeのさまざまなサイトの構築や改善を手がけ、今回のリニューアルも担当している諏訪拓生。過去には、彼のSEO（検索エンジン最適化）の手腕によってfreeのサイトの検索順位が大幅に上昇し、ネット検索で流入してくる人数を6倍にしたという実績を持つ。

ここで、SEOについて簡単に説明しておこう。SEOとは、グーグルやヤフーといった検索エンジンで、特定の

キーワードで検索した際に上位に表示されるための対策である。しかし、順位を上げる要素は多様化・複雑化しているうえ、そのアルゴリズムは検索エンジン側が決めているため、単にキーワードを散りばめたコンテンツを出せば必ず効果が出るというものでもない。素人ではなかなか一筋縄ではいかない分野だ。

「freeでは会計や労務にまつわる1万個ほどのキーワードについてSEO対策を施しています。ただ、今までは地名で税理士さんを絞るといったキーワードまでは対策に入っていなかったんですね。しかし、今後はユーザーと税理士さんをマッチングすることがfreeのマーケットの拡大にもつながり、さらにユーザー側にも税理士さん側にもメリットがある」と明確に見えてきたので、アドバイザー検索サイトのSEO強化に注力しているところ。すべてのキーワードで1位を目指すように頑張っています」

ウェブマーケティングはfreeにお任せ！

今回のリニューアルにはもう1つ目的がある。それは、会計や税務についての情報を総合的にユーザーに提供できるサイトにする。たとえば、「地名+税理士」と検索した人は、「税理士さんを探したい」という明確な意思を持っているケースが多いが、「節税+税理士」「起業+税理士」などの場合、単に情報収集をしたいただけというケースも多い。

そのとき、そういう人がしっかり情報収集できるサイトにしておくことで、税理士に依頼する一歩手前のニーズまですくい取って、ユーザーへの貢献度とアドバイザーの露出度を高めようというわけだ。

「将来的には、ユーザーが知りたい情報をどんどん拡張して、“ここに行けば何でもわかる”というサイトを構築したい。



検索サービスで表示される事務所ページもリニューアル。より見やすい仕様に ※開発中のためイメージは変更になることがあります。

たとえば事例やインタビューを掲載したり、専門家に寄稿していただいたりすれば、ユーザーと税理士さんのつながりを強化することにもつながります」

freeの検索サイトは、これまでも会計事務所の集客に貢献できる仕組みだったが、今後はそれがより強化されることになる。すでに取り組みは始まっており、今後は蓄積されたデータをもとに順次、改善を施していく予定だ。

会計や税務といった専門性が高い仕事だからこそ、マーケティングやSEO対策といった「集客」にまつわる業務を苦手とする会計事務所も多い。しかも、その効果的な打ち手は日進月歩で変化していくため、会計事務所が個別で実行するには大変な労力がかかってしまう。

でも、世の中に広く自社の価値を訴えていくには、もう「苦手」とは言っていない状況になってしまった。そのとき検索サイトなら、あれこれ労力をかけ

ずに事務所のアピールができるので、安心してコアサービスに邁進できる。検索サイトのなかで上位に表示されるほど、威力もどんどん大きくなる。

「ここ数年でさまざまな税理士検索サイトが伸びてきています。今はまだ、個別の会計事務所が検索エンジンで上位に表示されたりしますが、いずれ検索サイトに取って代わられるでしょう。過去、不動産業界でもEC業界でも同じ流れが起きました。会計業界でもそれを見据えて、今から検索サイトの利用を考えておくべきです。そのためのポイントは、アドバイザー制度の活用はもちろん、お客様が我々のサイトから事務所のサイトに飛んだときに、自社の強みやメッセージをきちんと伝えられるホームページを準備しておくことも大切です」

まさにウェブマーケティングという強みを活かして、ユーザーと会計事務所の間架け橋になる検索サービス。ご期待あれ。